

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## 第89回

2026年  
4月4日(土)  
15:00 ~ 18:00

### 早稲田大学 戸山キャンパス 36号館 682教室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。開場は14:30。

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(要申込み・飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方は4月1日(水)までにメールでお申込みください。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

参加無料



## ユル・布林ナー：日本・ロシア・アメリカを繋いだ宿命の家族史

報告者：榎本 真奈美

1950年代から一世を風靡した世界的な俳優ユル・布林ナー。出世作のミュージカル『王様と私』をはじめ、映画『十戒』や『追憶』、『荒野の七人』といった名作に出演し、世界中のファンを魅了した。

ユル・布林ナーは、ロシア、ウラジオストク生まれのロシア人だった。布林ナー家は、実は日本ともとても深い縁がある。

祖父ユリウスはスイス人の実業家で、明治時代に日本にやって来て長崎、横浜に約10年暮らした。ユリウスは日本人女性と家庭を築き、その子孫はユルの生涯の親友でもあった。アメリカ人貿易商の会社に勤めるうちに海運業、林業に注目し、ウラジオストクに拠点を移して「布林ナー商会」を創業、鉱山業や木材業にも着手して極東ロシアの開発と発展に貢献した人物である。朝鮮半島北部の森林租借権をめぐるユリウスの行動が結果的に日露戦争開戦の経緯に関わることにもなった。

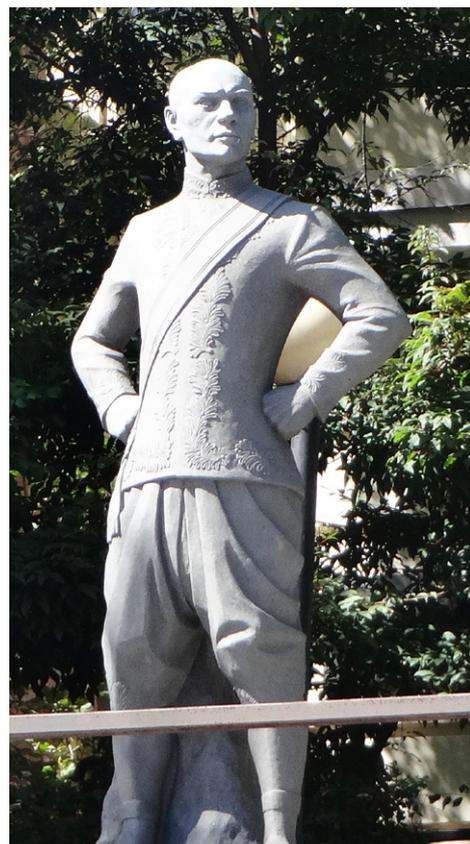
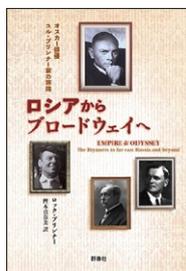
ユルの父、ボリスは兄妹と共にユリウスの産業を引き継ぎ、優秀な実業家として才能を発揮した。ロシア革命の波が極東ロシアを襲い、布林ナー(ユルの代からは「布林ナー」)家が「ブルジョアで人民の敵」となってからも勇敢にソヴィエト政権と交渉をしたが、逮捕、投獄の危険が及ぶと命がけでソ連を脱出した。再婚したモスクワ芸術座の女優コルナコヴァがユル・布林ナーの俳優の道を決定づけた。

『ロシアからブロードウェイへ オスカー俳優ユル・布林ナー家の旅路』(群像社、2023年)の著者ロック・布林ナーはユル・布林ナーの長男で、曾祖父ユリウス、祖父ボリス、父ユル、そしてロック自身の人生をそれぞれの時代背景とともに記し、四世代の記録を家族史としてまとめた。

ロック自身はダブリン大学で哲学を修め、ザ・バンドのライブやモハメド・アリのマネージャーまで務めた経歴を持つ。

日本、ロシア、アメリカを中心に、約150年におよぶ近代史を背景にユル・布林ナー家の知られざる活躍を明らかにする。

●榎本 真奈美(かしもと まなみ)  
神戸市外国語大学卒、同志社大学講師



ウラジオストクのユル・布林ナー像

ロック・布林ナー 著/榎本 真奈美 訳  
『ロシアからブロードウェイへ  
オスカー俳優ユル・布林ナー家の旅路』  
群像社 2023年3月 四六版 432頁  
定価3,200円(税別)